



浜屋敷フォトアワード2022 大賞「春！笑顔の新生活！2022」



特定非営利活動法人
 吹田歴史文化まちづくり協会

令和4年度 年次報告書

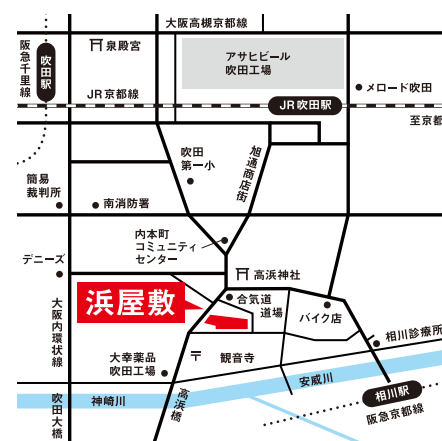
2022.4 - 2023.3
 Annual Report

特定非営利活動法人
 吹田歴史文化まちづくり協会

〒564-0025
 大阪府吹田市南高浜町 6-21
 (6-21 Minami Takahamacho, Suita City, Osaka)
 TEL : 06-4860-9731 / FAX : 06-4860-9725
 Mail : info@hamayashiki.com
 URL : <https://hamayashiki.com/>

 @hamayashiki2
  @hamayashiki

発行：令和5年5月21日 発行人：藤本 衛



令和4年度 年次報告書 目次

ごあいさつ	1
第2次 5か年重点課題の進捗状況について	
施設の管理運営事業報告	2・3
各種運営会議	
貸館事業	
観覧事業	
実施イベント報告	4・5
地域交流事業	
芸能・芸術鑑賞・演奏会事業	
学習・教養講座事業	
まちづくり調査研究事業	
共催事業	
ボランティア活動報告	6・7
活動するボランティア紹介	
吹田まち案内人事業	8
加賀眞砂子文庫	9
吹田の歴史探訪	
吹田だんじり部会	9
広報活動報告	10
主な広報活動	
ききがき吹田の民話	10
会計報告	11
貸借対照表・活動計算書	
団体情報	12
沿革	
組織	
協賛法人・団体のご紹介	13
ご支援のお願い	



ごあいさつ

平素は吹田歴史文化まちづくりセンター「浜屋敷」に対しましてご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。たく厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年度は「新型コロナウイルス感染症」防止のため、年度前半の大型事業は実施できず、「貸室事業」や「講座事業」は定員の半数で実施をしました。また、オンラインを使った講演会や会議を実施するなど、今までになかった事業を展開することができました。また、令和5年度には吹田歴史文化まちづくりセンター設立20周年を迎えますので、今までの浜屋敷の活動を振り返るとともに、新しい活動の方向性を模索していき、よりよい地域文化の発信所としての浜屋敷になるよう、市民の皆様にも愛される施設として努力する覚悟でありますので、一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



理事長 藤本 衛

第2次 5か年重点課題の進捗状況について

令和3年度に策定した第2次5か年重点課題は2年目に入り下記の内容で各委員会に於いて具体策の策定をするとともに具現化できるものについては逐次実行に移しています。最終年度となる令和7年度に向けて各委員会でさらに検討を重ねてまいります。

1. 総務企画委員会

今年度は特にスタッフの人材育成のため、ユニバーサルマナー検定の習得(2名)、防火管理者講習の受講、さらに食品衛生責任者の講習も検討しています。また、喫緊の課題として土間の活性化を検討しています。加賀眞砂子文庫特別展「吹田殿」の開催や「第1回吹田だんじり祭」のサポート、ECOへの取り組みなど課題の推進に努めています。

2. 事業企画委員会

市民団体、文化団体との連携について「折り紙玉手箱」「すいたきりえグループ」とのイベントを実施しました。また、市民公募企画事業について今年度は17件の応募があり徐々にではありますが、市民の方に浸透してきました。また、吹田市の小学校の課外授業として「昔の生活体験」が復活いたしました。次年度20周年を迎えるにあたり、個々の事業の内容について見直し検討していきます。

3. 広報委員会

今年度4月よりInstagramを始めて浜屋敷の日常を発信することにより新たな顧客層の開拓に取り組みました。市民ニーズの把握については調査方法やターゲットなどを検討し、令和5年度の実施を目指しています。

4. ボランティア委員会

ボランティア組織については当面継続としますが、個々の活動や研修、募集方法について検討をしています。吹田市の既存のボランティアとの連携も進めています。また、吹田市の各大学のボランティアサークルも各事業の中で活動を始めました。

5. まち案内委員会

まち案内人の新規募集や人材育成のためのチラシ作成や個人別資料の整備など基礎資料の作成に取り組みました。また、次年度に向けてのガイド募集の在り方や、既存のボランティアのスキルアップを目指します。

施設の管理運営事業報告

各種運営会議

様々な活動を運営実行するため、各種会議を開催しました。

- 総 会

○評 議 員 会

○理 事 会

○総 務 会 議
- (年 1 回開催)

(年 2 回開催)

(年12回開催)

(年12回開催)
- 事 業 会 議

○広 報 会 議

○ボランティアルーダー会 議

○吹 田 市 運 営 協 議 会
- (年12回開催)

(年 7 回開催)

(年 5 回開催)

(年 1 回開催)



応急手当講習

吹田市南消防署より講師を招き救急救命講習を行いました。心肺停止や呼吸停止状態に陥った方に対し、救急車が到着するまでの措置法、訓練用人形を使った心肺蘇生法(胸骨圧迫)、A E Dの使用法、止血法や異物除去法などの実施訓練を行いました。いざという時、スタッフ全員、慌てず対応するための訓練です。



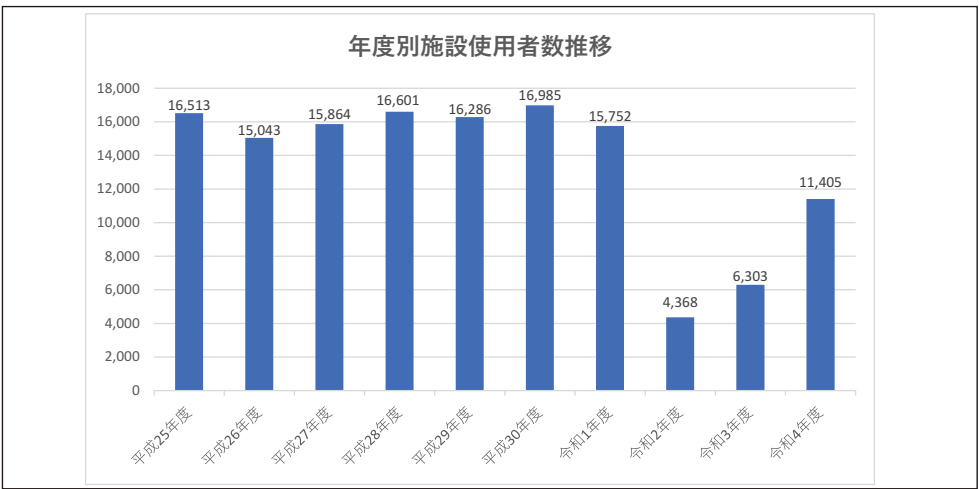
人材育成

スタッフの人材育成のため、ユニバーサルマナー検定3級の講習を2名、防火管理者講習を1名、受講し習得しました。今後は食品衛生責任者の受講も検討しています。



貸館事業

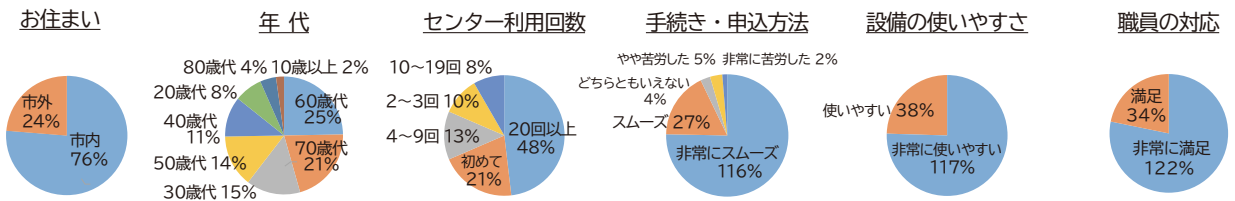
新型コロナウイルス感染症防止対策による利用者の減少はありますが、本年度は貸室利用者数が 1 万人を超え、コロナ前に戻りつつあります。写真撮影や作品展示会に使用される方も増え「和風庭園が美しく、お茶の稽古に気持ちが入って楽しい」「これだけの施設を手頃な価格で借りられる所は他にない。有難い」とのお声をいただきました。



令和4年度使用者数(人)

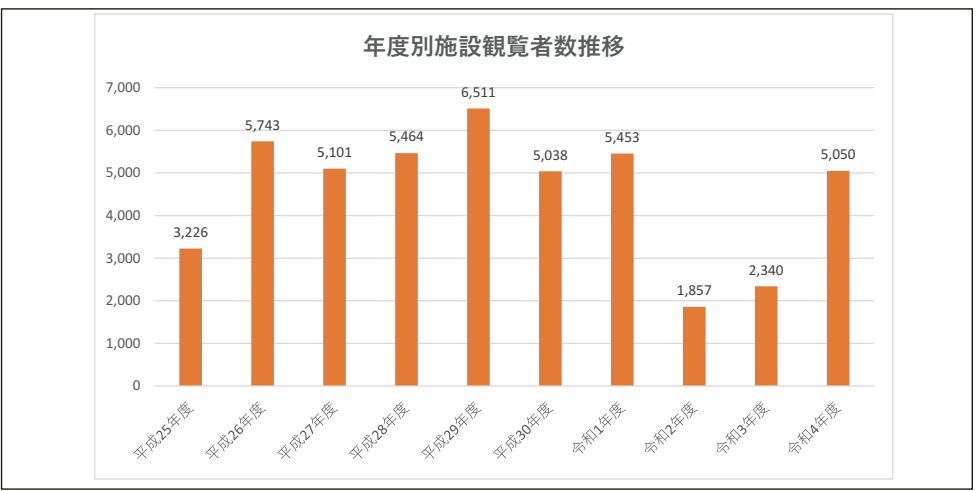
4 月	651
5 月	1,484
6 月	496
7 月	545
8 月	533
9 月	750
10 月	2,318
11 月	1,010
12 月	802
1 月	698
2 月	715
3 月	1,403
計	11,405

アンケート実施時期(令和4年4月～令和5年3月)



観覧事業

新型コロナの影響で激減した館内見学者も徐々に回復、又地域・大学等の団体見学も復活その館内ガイドをまちの駅ボランティアが行っています。3 年振り再開した小学校の炊飯体験授業のお手伝いもしました。人との交流を目的とした土間談議は年毎に盛況となって、昨年は 5 回開催。会員による文化活動は昨年古民家探訪を実施、見識を深めました。



令和4年度観覧者数(人)

4 月	188
5 月	488
6 月	273
7 月	288
8 月	127
9 月	138
10 月	172
11 月	397
12 月	332
1 月	735
2 月	457
3 月	1,455
計	5,050

実施イベント報告

今年度もコロナウイルスの猛威に制限がある中ですが、密を避けつつ、賑わいを創出できる事業も実施しました。また、オンラインを利用するなど新たな取り組みも継続します。特に、今年度は加賀眞砂子文庫特別展「鎌倉初期の景勝地 吹田殿」を実施しました。引き続き吹田の文化の保存と伝承に貢献していきます。

地域交流事業

イベントタイトル	実施月	参加者
さくら日和	4月	107名
ポスター展	5月	—
端午の節句	5月	56名
春の手づくり市	5月	750名
七夕笹飾り	7月	18名
第7回ジャンボ将棋まつり	9月	中止
旧暦重陽の節句	10月	60名
秋の手づくり市	10月	1256名
きりえ・折り紙ワークショップ	11月	72名
おもちつき	12月	中止
正月飾り	12月	—
すすはらい	12月	23名
七草粥のふるまい	1月	198名
新春かるたあそび	1月	14名
炊飯体験	2月	70名
ひなまつり	2月	36名
墨絵ワークショップ	2月	18名
ぽかぽかひろば	年4回	78名＋動画配信1回
土間談議	年5回	計53名

芸能・芸術鑑賞・演奏会事業

墨絵ワークショップ展示	4月	—
関西大学落語会	6月	28名
四季の雅楽 鑑賞会	7月	24名
コンサートin浜屋敷 浜の音コンサート	8月	23名
コンサートin浜屋敷 ケイ・リング・ガレットwith泉 佳穂	9月	32名
浜屋敷フォトアワード2022	2月	123作品
第17回 能楽囃子の世界	2月	51名
狂言の音曲	3月	43名



学習・教養講座事業

イベントタイトル	実施月	参加者
京ことば源氏物語 「夕顔 若き源氏 はかない恋」	4月	29名
日本語の美 五・七・五で遊ぼう	7月	9名
平和学習 個の中の広島 広島 ヒロシマ	8月	21名
民博楽座 -あなたにとって「ことば」とは-	9月	17名
日本語の美 みんなで詩を楽しむ会	11月	5名
加賀眞砂子文庫特別展	11月	128名
民博楽座スペシャル 「クリスマス再考」	12月	12名
企画公募事業 絵画と朗読と音楽と「雨月物語より」	12月	74名
すいた昔さろん	年11回(3回中止)	計159名
博物館出前講座 古文書入門講座	12月(2回)	計36名

まちづくり調査研究事業

民話朗読	6月	動画配信
まちづくり交流会	2月	25名
【オンライン事業】 スライドでまち歩き -江坂周辺コース編-	3月	8名

共催事業

公益財団法人 吹田市国際交流協会 / SIFA 多文化ぱらす@浜屋敷	2月	17名
---------------------------------------	----	-----

参加者アンケートの実施

加賀眞砂子文庫特別展 「鎌倉初期の景勝地 吹田殿」

	a. イベント内容	b. 実施時間	c. スタッフ対応	d. 会場配置等
1. 大変良かった	30	25	32	25
2. 良かった	18	19	13	14
3. 普通	0	1	3	6
4. 悪かった	0	1	0	0
5. 非常に悪かった	0	0	0	0
未記入	0	4	0	3

・吹田殿のイメージ絵もあり、わかりやすかったです。
ありがとうございました



まちの駅ボランティア



喫茶ボランティア



ぽかぽかひろば



 ボランティア

みんなでアイデアや時間を持ち寄って浜屋敷を
いきいきとした歴史・文化のまちづくりの拠点にしませんか？
得意な分野、関心のある分野でボランティアとして
わいわい楽しく活動しましょう！

吹田まち案内人



和風庭園ボランティア



撮影ボランティア



グリーンボランティア



清掃ボランティア



メールボランティア



助っ人ボランティア



活動するボランティア紹介

浜屋敷では10のボランティアグループが、それぞれの特技・特性を活かしながら浜屋敷の活動をサポートしています。

(令和5年3月現在)

グループ名	活動内容	活動人数
喫茶	午前10時30分～午後3時30分まで開店(不定期)	15
グリーン	浜屋敷内の草木の手入れや、植栽、苗育成、果樹育成	11
撮 影	浜屋敷発ニュース番組「浜屋敷通信」を制作、イベントなどの記録撮影	7
吹田まち案内人	まち歩きのご案内を引き受けるボランティアガイド組織	18
助っ人	協会からの協力依頼事業、及び施設の維持管理の手伝い	12
清 掃	毎朝30分、浜屋敷周辺や隣接公園、敷地内の清掃や草取り	9
和風庭園	庭園の整備や苔育成	1
ぽかぽかひろば	幼児、児童を対象としたイベント「ぽかぽかひろば」を年4回企画、実施	5
まちの駅	浜屋敷の館内ガイドや「土間談議」などのイベントの実施、協力	11
メール	浜屋敷の広報誌「吹田ノ渡シ」の配達	4



グリーンボランティア



助っ人ボランティア



喫茶ボランティア



清掃ボランティア

グリーンボランティア

●浜屋敷の庭の草花の育成管理や草刈りをしています。桜やひまわり、紫陽花など、四季折々の花を育て、年末には門松の制作も行いました。端午の節句や重陽の節句、ひなまつりなどの季節行事では、それぞれにあった花を飾り、来館された皆様に楽しんでいただくことが出来ました。

助っ人ボランティア

●手づくり市やさくら日和など、イベントでの会場設営、来館者の皆様へ駐車・駐輪案内や整理を行います。テントの組み立てやイベント会場の見回り、端午の節句での鯉のぼり展示準備など、多種多様な場面で浜屋敷の活動をサポートしています。

喫茶ボランティア

●土間で喫茶を開店しています。コーヒーやゆず茶などの飲み物の他、夏にはかき氷も販売しています。今年度はココアが新メニューとして登場しました。新しいスタッフも加わり、さらに賑やかになりました。定期的にミーティングを開催し、より多くの方にご利用いただけるよう、尽力しています。

清掃ボランティア

●浜屋敷の休館日と雨天時以外、毎日活動しています。暑さ、寒さにもめげず毎朝8時30分から30分間、周辺道路と隣接公園の掃除・草取り、浜屋敷内の落ち葉拾いなどを行っています。来館される皆様が気持ち良く過ごせるよう、活動しています。

吹田まち案内人事業

「吹田まち案内人」は今期で16年目の活動を迎えました。ここ数年はコロナ禍によりガイドの開催の中止や延期の繰り返しでしたが、春以降は「緊急事態宣言」が発せられる事もなく、コロナ禍対策を充分考慮した活動の結果、昨年度に比べるとガイド件数も参加者も大分増えて来ました。

今期の特徴的な事は、「吹田まち案内人」が自主的に企画・運営する「自主企画」案件の申込者は、殆どキャンセル待ちの状態でした。近年パソコン、スマートフォン等のIT機器使用の大幅な普及で、情報入手の形態が大きく様変わりした結果、人と人とが顔を見ず、接触する事もなく、直接会話をすることが従来に比べると少なくなりました。その上コロナ禍がさらに追い打ちをかけた結果でしょうか、「とにかく外を歩きたい」、「人と交わりたい」との思いが直接参加者から伝わって来るのを感じました。

何処のボランティア活動も抱えている共通の課題なのですが、「吹田まち案内人」も例外にもれず高齢化と人員の減少に直面しています。反面ガイド活動を通じて多くの人が「まち歩き」に期待を寄せている事を実感出来た1年でもありました。

今後も創意工夫を重ね、市民に喜んでいただける「吹田まち案内人」を目指したいと考えております。



自主企画 まち歩き



スライドでまち歩き

吹田まち案内人 主な活動

- ①吹田まち案内人 活動
 - ・自主企画 9件 232名参加
 - ・団体依頼 29件 422名参加
- ②「吹田まち案内人」入門講座 中止
- ③「吹田まち案内人」研修会
 - ・実施日：令和4年10月16日(日)
 - ・場 所：奈良県明日香村
 - ・内 容：吹田まち案内人 勉強会
- ④「吹田まち案内人」研修講座(4回)
 - ・実施日：令和4年10月26日(水)、11月16日(水)、12月21日(水)、令和5年1月25日(水)
 - ・場 所：浜屋敷
 - ・内 容：吹田まち案内人 勉強会
- ⑤大学ゼミ支援
 - ・阪南大学「吹田のフットパス」について報告会(1回)
 - ・実施日：令和4年7月6日(土)
- ⑥オンライン開催
 - ・「スライドでまち歩き」江坂エリア
 - ・実施日：令和5年3月12日(日)



「吹田まち案内人」研修講座



大学ゼミ支援(阪南大学)

加賀眞砂子文庫

令和4年度は「加賀眞砂子文庫特別展 鎌倉初期の景勝地 吹田殿」を開催しました(11/19・20)。かつて莫大な富と権力を得た西園寺家(藤原鎌足を祖とする名門公家)が四景勝地に別荘を建て、その一つ「吹田殿」では上皇、中宮、上達部が優雅なお遊びをされました。本展では吹田殿について多数の文献から抽出したデータで年表を構築。130名を超える来場者の方々から「吹田にこんな立派なものがあったとは知らなかった」「資料に圧倒された」「この街でいろいろ学びながら暮らしていけることが幸せです」等々、好評を得ました。特別展で注目された吹田殿イメージイラストを、主屋の和室(上の台所)に常設展示しています。

加賀文庫は浜屋敷[多目的室]で 8月と12月の第4土曜日を除き 毎月第2・第4土曜日午後1時30分～4時30分に開館しています。



展示の様子



後藤市長ご来館

吹田の歴史探訪

浜屋敷センターニュース【吹田ノ渡シ】の第4面では、加賀先生による連載【吹田の歴史探訪 加賀文庫】を掲載しています。こちらでは加賀文庫に収蔵されている本を解説つきで紹介しています。

令和4年度の掲載タイトル

113号	学習まんが日本の歴史20	116号	神境町古代傳記
114号	写真アルバム「吹田市の昭和」	117号	きりえさんぽ吹田「旧街道を歩く」 高川に架かる水道橋
115号	きりえさんぽ吹田「旧街道を歩く」 上の川旧水路	118号	川の本①② 淀川の急流対策とワンド

吹田だんじり部会

活動報告

令和4年、当初より吹田だんじり祭開催に向けて計画を進め、吹田市への補助金申請も承認されて具体的に動きました。曳行ルートについては、泉殿宮ルートと高浜神社からの2ルートで計画し、承認されました。曳行ルートの交通関係者に「吹田だんじり祭」の予告看板を24か所に設置し、周知を図り、ポスターやチラシを作成して関係機関への配布や、だんじり関係自治会を通じて近隣に掲示等を依頼して進めました。

「第1回吹田だんじり祭」当日は天候にも恵まれ、曳行ルートでは約3,500人の皆さんがだんじりの来るのを待っていており、通行時には励ましの拍手等もいただき、だんじり関係者も大いに励まされました。また、さんくす広場等で実施をされました他団体の開催する催し会場でも、多くの市民の皆様が参加をされていたとお聞きいたしました。

令和5年は7月30日(日)の夕刻より「第2回吹田だんじり祭」を計画しております。このだんじり祭が吹田の名物になるように続けていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。



第1回 吹田だんじり祭

広報活動報告



主な広報活動

センターニュース「吹田ノ渡シ」の発行（年6回）

公的施設の他、近隣自治会などへ113号から118号を各号4200部配布しました。また、視覚障害の方むけに点訳版も発行しています。

Webへの取り組み

Twitter、Facebookに加えて4月よりInstagramを始めました。「浜屋敷の魅力を発信」をテーマに日常風景や季節の花などを紹介しています。また、催しの様子など「浜屋敷通信」としてYouTubeで公開しています。

浜屋敷通信

浜屋敷の小さな文化祭 包んで結んでふろしき講座 浜屋敷で楽しむ本読み狂言 さくら日和
浜屋敷春の手づくり市 民博楽座 あなたにとって「ことば」とは？ 加賀真砂子文庫特別展

ぽかぽかひろば

アワアワしゃぼん うえしたまんなかどっち？ ペットボトル水鉄砲のつくり方

記事掲載

ききがき吹田の民話 （大阪日日新聞 紙面・web版）
フォトアワード2022 （登竜門/フォトコンめぐり/ピクる/CAPA CAMERA web）
吹田まち案内人と歩く （アサヒファミリー）

ききがき吹田の民話

1984年に発行された「ききがき吹田の民話」（文：阪本一房、切絵：すいたきりえグループ）をアナウンサーの野村朋未さんに朗読していただき、浜屋敷Youtubeチャンネルで配信しています。
毎月一話ずつ、全40話公開する予定です。朗読の後には、民話の舞台になった場所の現在の様子も紹介しています。

2022年度に公開された動画

第八弾	佐井の清水	第九弾	つなぬき祭	第十弾	油かけ地藏	第十一弾	長柄の人柱
第十二弾	じにんの定吉	第十三弾	小女郎稲荷	第十四弾	かまいたち	第十五弾	茂右エ門さん
第十六弾	しゃかが池のかも	第十七弾	加多野の山賊	第十八弾	吹田殿	第十九弾	五十狭茅宿祢

会計報告

貸借対照表・活動計算書

貸借対照表

(単位：千円)

令和４年度 貸借対照表（要約）			
資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金預金	10,520	預り金	265
棚卸資産	80	未払費用	3,048
その他流動資産	66	前受金	323
		合 計	3,636
		正味財産の部	
		前期繰越正味財産	6,499
		当期正味財産増減額	532
		合 計	7,030
合 計	10,666	負債及び正味財産合計	10,666

活動計算書

令和4年度 活動計算書（要約）			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
（経常収益）		（経常費用）	
受取会費	565	事業費	人件費 13,510
受取寄付等	300		その他経費 11,347
受取助成金等	3,354	管理費	人件費 5,560
事業収益	27,661		その他経費 729
その他収益	37		
経常収益合計(A)	31,917	経常費用合計(B)	31,146
		当期経常増減額 (C)=(A)-(B)	771
		（経常外費用）	
		法人税、住民及び事業税(D)	239
		当期正味財産増減額 (E)=(C)-(D)	532
合 計	31,917	合計	31,917

団体情報

沿革

- 平成 12 年 8 月 南高浜歴史民家再生・活用研究会発足
- 平成 13 年 6 月 南高浜歴史民家運営組織準備委員会設置・発足
- 平成 15 年 2 月 吹田歴史文化まちづくり協会 設立
- 平成 15 年 6 月 吹田歴史文化まちづくりセンター開館
- 平成 16 年 6 月 センターの愛称が「浜屋敷」に決定
- 平成 19 年 2 月 特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会となり現在に至る。
- 平成 25 年 6 月 協会設立 10 周年及びセンター開設 10 周年記念式典実施
- 平成 30 年 6 月 協会設立 15 周年及びセンター開設 15 周年記念式典実施

受賞歴

- 平成 17 年度 (社)日本都市計画学会関西支部 関西まちづくり賞
- 平成 19 年度 吹田市 文化のまちづくり推進者表彰
- 平成 21 年度 吹田市 第 3 回いいでしょこのまち賞 はぐくみ部門
- 平成 22 年度 国土交通省 手づくり郷土賞
- 平成 22 年度 国土交通省近畿地方整備局 第 3 回ゆめづくりまちづくり賞 優秀賞

組織

役員名簿 (令和5年3月現在)

理事長	藤本 衛	神境町自治会 会長
副理事長	平山 浩美	ヒッポファミリークラブ吹田 代表
	井上 一光	会社顧問
理 事	内山 正之	㈱西日本出版社 代表取締役
	大形 智美	香りすと「cocoa」代表
	小田 信子	NP0法人 すいた市民環境会議 理事
	金指 弘	NP0法人 市民ネットすいた 理事・吹田まち案内人
	金村 優子	アルメナックス 代表
	北嶋 玉枝	吹田市ボランティア連絡会 副会長・点訳の会「円」代表
	長岡 弘隆	長岡建築研究所 所長・吹田まち案内人
	林 修二	リンクリング 代表
	樋口 象一	南町自治会 役員
	福澤 靖治	「まちの駅浜屋敷」相談役
	南 知香子	企業組合 もえぎ設計
	矢上 敬子	吹田ボランティア会長・吹田市ボランティア連絡会 副会長
	山下 之夫	(有) AQUAS 役員
監 事	那須 良太	弁護士
	児島 伸幸	税理士
特別顧問	中牧 弘允	吹田市立博物館 特別館長
	柴田 仁	大幸薬品㈱ 代表取締役会長

令和 4 年度協賛法人・団体のご紹介

当協会は吹田市より委託を受け、吹田歴史文化まちづくりセンター（通称 浜屋敷）を管理運営しています。歴史ある民家の特性を活かし、地域に息づく歴史・文化を継承するとともに、吹田市の文化活動の振興と交流の場となって地域の発展に資することを目指し、活動しています。そのためには各企業様のご支援ご協力が欠かせません。

令和 4 年度協賛法人・団体 (50 音順)

アサヒビール株式会社 吹田工場	アーキヤマデ 株式会社	NP0法人 JR吹田駅周辺まちづくり協議会
金田町自治会	株式会社 生島商店	株式会社 河崎ユニフォーム
株式会社 空間デザイン	川面町自治会	北おおさか信用金庫 吹田支店
公益社団法人 吹田納税協会	神境町自治会	吹田エリア郵便局 吹田部会
吹田商工会議所	大洋技研 株式会社	都呂須町自治会
西奥町自治会	浜の堂自治会	ミズカラ 株式会社
南町自治会	有限会社 スイケン	有限会社 セシル工芸
有限会社 ヨシミ電子機器	六地藏自治会	

ご支援のお願い

会員募集

歴史と文化のまちづくりに取り組む特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会の活動に賛同し、協力・支援していただける会員を募集しています。令和 4 年度は個人正会員 83 名 個人賛助会員 96 名 法人賛助会員 24 社の皆様にご支援いただきました。

○年会費

個人正会員	3,000 円
個人賛助会員（一口）	1,000 円
法人賛助会員（一口）	10,000 円

○お申込み

入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局で年会費をお支払いいただくか、郵便振替をご利用ください。郵送・FAX 也可。（入会申込書は協会ホームページからもダウンロードできます）

会費振込み先

【ゆうちょ振替口座番号】 00940-5-188860

【口座名義】 特非）吹田歴史文化まちづくり協会

活動支援寄付

歴史と文化のまちづくりに取り組む特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会の活動推進のために皆様のご支援をお願いいたします。

【金融機関名】 三井住友銀行

【口 座】 普通 【口座番号】 3850640

【口 座 名 義】 特非）吹田歴史文化まちづくり協会 理事長 藤本 衛

民俗資料寄贈

当協会は、地域の民俗資料の収集を行っています。寄贈いただける民俗資料がございましたら、事務局までご連絡ください。

ボランティア募集

当協会のサポーター（ボランティア）になり、様々な活動に協力していただける皆様の募集しています。希望される方は事務局までご連絡ください。令和 5 年 3 月現在 80 名以上のボランティア登録があり、活動協力していただいております。